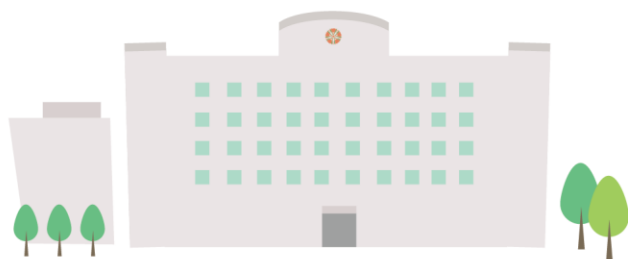


MR検査



ご利用の手引き

当院連携の先生方へ



Guide to inspection



社会福祉法人 Saiseikai Utsunomiya Hospital

恩賜
財団

済生会宇都宮病院

検査の申込みから、結果報告までの流れをご説明させていただきます。
ご案内：注意事項をご確認の上検査をお申し込み頂きますようお願いいたします。

01 検査のご予約について

MR検査は完全予約制です。MR検査の予約は、地域連携課までお電話ください。
検査の予約日時が決まりましたら、MR診療情報提供書(兼検査依頼書)・検査予約票・
造影剤使用に関する同意書をFAXで送信いたします。

お問い合わせ

☎ TEL【直通】028-626-5674

📠 FAX【直通】028-626-5795

🕒 月曜日～金曜日 / 9:00 ～ 17:00 土曜日 / 9:00 ～ 12:00

- 予約時に、当院受診歴の有無を確認いたしますので、事前に患者さんに確認をお願いいたします。(当院を受診したことがある患者さんの場合は、当院の患者IDが既にございます。不明な場合は氏名・生年月日で検索が可能です。)
- 予約後、FAXで届いた以下の書類を元に検査のご説明等をお願いいたします。
 - ・**検査予約票**：検査の内容や食事・常備薬などの注意事項が記載されております。こちらは、そのまま患者さんにお渡しください。
 - ・**MR診療情報提供書(兼検査依頼書)**：必要事項の記載をお願いいたします。
※診療情報提供書の形式はこの様式でなくとも構いません。
 - ・**造影剤使用に関する説明書と同意書**：造影剤検査をご予約の際は、こちらの説明と患者さんに同意の署名をして頂くようお願いいたします。
- 小さなお子さま(小学校低学年まで)の場合は、検査中の安静を保つためにトリクロリールなどの薬の処方が必要となりますので、その都合上ご面倒でも当院小児科外来に直接ご紹介頂きますようお願いいたします。

02 検査当日、患者さんにお持ちいただくもの

- ・診療情報提供書(兼MR検査依頼書)
- ・検査予約票
- ・造影剤使用に関する同意書 ※造影剤検査をご予約の場合のみ
- ・保険証
- ・済生会宇都宮病院の診察券 ※以前に当院を受診したことがある場合

03 検査の流れについて

検査当日は予約時間の30分前までに総合受付1にお越しいただきますようお願いいたします。
当院の放射線科医師による問診の後に、MR検査となります。検査に要する時間は、部位により異なりますが30分前後です。

04 結果の報告について

原則として当日、患者さんへの結果報告は致しません。
結果報告につきましては、5日以内(土日・祝日は除く)にご依頼いただきました先生に郵送させていただきます。なお、お急ぎの場合は予約時にお申し出ください。

結果報告についてのお問い合わせは

放射線科 科長 日本医学放射線学会放射線診断専門医

日本核医学会PET核医学認定医 谷村 慶一 までお願いいたします。

05 食事について

検査前日 特に制限はありません。

検査当日 検査予約時間の2時間前からは禁食となります。

なお、水分(お水・お茶・スポーツ飲料など)はお取りいただいて結構です。
(牛乳は不可)

06 薬について

紹介元の先生より処方されている薬は普段通りに飲んでいただいても構いません。
糖尿病の内服薬(インスリン)も同様です。ご指示のほどをお願いいたします。

07 料金のお支払いについて

保険適用疾患の場合、お支払いは6,000円～20,000円程になります。

08 キャンセルについて

やむを得ず変更が必要な場合は、必ず**前日の正午**までにご連絡いただくようお願いいたします。ただし、前日が土曜日・日曜祝祭日の場合はその前々日の正午までとさせていただきます。

09 検査時のご注意点について

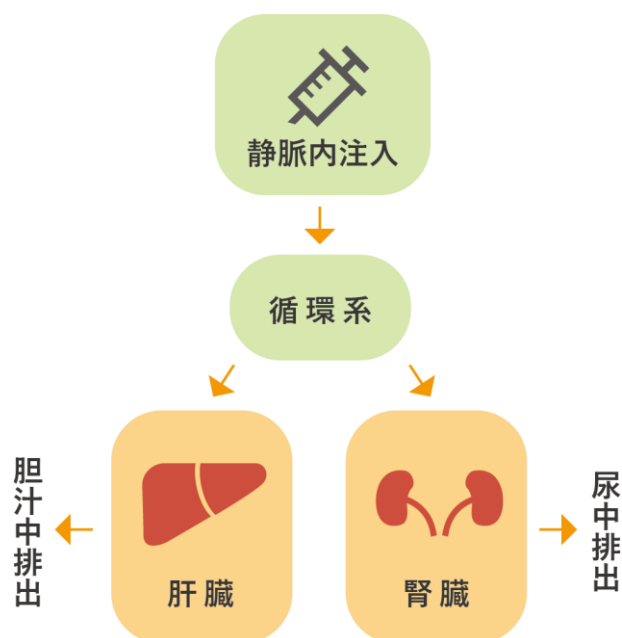
検査ご依頼の際、以下の事項についてご確認をお願いいたします。

- 体内装着の電子精密機器(ペースメーカー、除細動装置、人工内耳)を装着されている場合は検査を受けることができません。
- 脳動脈クリップや手術で埋め込んだ金属の内、磁性体の場合は検査ができませんので規格・種類の確認が必要です。(脳動脈留クリップ:当院にて手術を施行した場合、1990年以降の手術は検査可)
- 臓器内の強磁性体(外傷などで鉄片、弾丸)などが、目・脳・肺・縦隔にある場合は検査ができません。
- 閉所恐怖症の人は、個人差にもよりますが検査ができない場合もございます。
- 妊婦に対するMR検査は胎児に及ぼす影響が不明ですので、妊娠3カ月以内の妊婦に対するMR検査は避けてください。

- 冠動脈ステントについては、冠動脈ステント患者手帳の記載では316Lステンレス銅製ステントの場合、留置後8週間は禁忌。
- 頸動脈クランプ：一般に安全であるPoppen-Blaylockの製品は禁忌。
- 心臓人工弁：Star-Edward600番以前(1970年以前)の製品は禁忌。
- 整形外科の材料：膝の十時靱帯再建に用いられるPerfixinterference Screwは禁忌。
- マグネットを使用している入れ歯、インプラントで、口腔内に残る部分にマグネットが使用されている場合、検査は受けられません。
- ニトログリセリン真皮浸透絆創膏：ニトログラム(低温やけどを起こす可能性がありますので、検査前にはがしていただきます。)
- 補聴器・腕時計・携帯電話・電子キーは故障の原因となりますので外していただきます。
- 入れ歯・ネックレス・指輪・金属のついている下着なども検査する部位により外していただきます。

10 造影剤について

MR用造影剤には、全身に使用されるガドリニウム(Gd)製剤と肝疾患に使用される肝細胞特異性Gd造影剤の2種類があります。役割は病変と周辺組織との位置関係、病変の大きさ、内部構造を明確にします。Gd造影剤(無色)は、静脈内に投与された後、血管内から細胞間内に移行し、腎から排出されます。



肝細胞特異性Gd造影剤

肝細胞特異性Gd造影剤は、静脈内投与後血管内および細胞外液に分布するため、投与直後に動脈相、門脈相および平衡相を撮像することにより病巣の血流情報が得られます。また肝細胞に取り込まれるため、投与後20分以降では正常な肝実質と肝細胞機能を消失あるいは保有していない病巣とのコントラストを増強し、肝細胞機能に基づいた情報が得られます。静脈内投与後、尿中から排出されるとともに肝細胞に特異的に取り込まれます。最終的に約40%が糞中に排出され、約60%が尿中から排出されます。

※以下に該当する場合は、造影検査を行わない場合があります。

- Gd造影剤に過敏症の既往歴のある人 ● 気管支喘息のある人
- 重篤な腎障害のある人 ● 一般状態の極度に悪い人 ● 妊婦 ● 授乳婦
- アレルギー体質の人(薬物アレルギー・食物アレルギー)

12 副作用について

副作用については、検査の時点での体調やアレルギーの有無、造影剤の既往などに注意しながら安全に検査が行われるように努めておりますが、検査中あるいは検査後しばらくしてから下記の様な副作用症状が起きることがあります。

● 軽い副作用(頻度は約1～2%以下):

吐き気・嘔吐・めまい・注入部位反応・発疹・かゆみ・発熱・咳 など

● 重い副作用(極めてまれで1万人に1人以下):

アナフィラキシー様反応(呼吸困難や血圧低下など)

● 遅発性副作用

- ・ 検査終了後に遅れて軽い副作用が見られる場合があります。(遅発性副作用)
- ・ 症状が出るのは検査後1時間程度から数日後まで幅があります。
- ・ Gd製剤では、一般に軽い症状が多く、頭痛・吐き気・めまいなどの主観的な症状と、発疹・かゆみ・じん麻疹などの皮膚症状が中心で、治療を必要とするものは少ないとされています。極めて稀にショックやアナフィラキシー様反応(呼吸困難や血圧低下)などの重い副作用が遅れて出る可能性もあります。

11 検査後の過ごし方について

Gd製剤は、腎から尿中に排出されますので、排出を促す意味もありますのでいつもより水分を多めにお取りいただきます。食事の制限・入浴の制限はありません。

授乳される女性の方で、Gd製剤を使用された方は48時間授乳することを控えていただきます。その間に積極的に搾乳してGd造影剤の排出を促すようにお願いします。

副作用と思われる症状が現れましたら救急外来を受診されるか救急外来までご連絡いただくようお願いください。

ご連絡先

済生会宇都宮病院救命救急センター 

☎ TEL 028-626-5599